



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <http://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 鈴木 登 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	87,959	1.6	13,985	△12.8	14,626	△10.2	11,163	4.9
28年3月期第3四半期	86,562	1.8	16,039	1.7	16,286	△7.5	10,641	△12.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,441百万円 (△33.0%) 28年3月期第3四半期 11,105百万円 (△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	159.85	-
28年3月期第3四半期	150.89	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	216,177	153,544	69.9
28年3月期	222,468	155,702	68.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 151,178百万円 28年3月期 152,976百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	32.00	-	32.00	64.00
29年3月期	-	32.00	-	-	-
29年3月期（予想）	-	-	-	32.00	64.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,400	2.5	14,500	△26.9	15,000	△23.1	10,700	△14.8	153.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	70,771,662株	28年3月期	70,771,662株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,989,082株	28年3月期	247,631株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	69,835,972株	28年3月期3Q	70,524,410株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日）の売上高は、前年同期に比べ1.6%増の879億5千9百万円となりました。

営業利益は前年同期比12.8%減の139億8千5百万円、経常利益は前年同期比10.2%減の146億2千6百万円となりました。薬価改定の影響および生薬関連コストの増加等により売上原価率が前年同期比2.5ポイント上昇し、経費効率化等に努めましたが、営業利益率は15.9%（前年同期比2.6ポイント低下）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益8億7千3百万円を特別利益に計上したこと等により、前年同期比4.9%増の111億6千3百万円となりました。

主力の医療用漢方製剤全体の売上高は、昨年4月に実施された薬価改定による影響を受けながらも、前年同期に比べ1.5%伸長しました。医師面談、医療機関説明会、漢方医学セミナーを基本活動とし、基礎・臨床的エビデンス、漢方掲載の治療ガイドラインおよび漢方医学的な処方を使い分け等に関する情報提供を継続的に実施しております。

引き続き、高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域の重点3領域を中心に、潜在市場の大きい漢方市場の拡大を進めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、たな卸資産の減少および投資有価証券の売却による減少等により前連結会計年度末に比べて62億9千万円減少し、2,161億7千7百万円となりました。

負債は、未払金の減少等により前連結会計年度末に比べて41億3千1百万円減少し、626億3千3百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べて21億5千8百万円減少し、1,535億4千4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は1.1ポイント上昇して69.9%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、153億3千2百万円の収入となりました。前年同期との比較では、たな卸資産が微増にとどまったこと等により42億4千1百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、50億7千7百万円の支出となりました。前年同期との比較では、投資有価証券の売却による収入等により7億2千万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、94億9千6百万円の支出となりました。前年同期との比較では、自己株式の取得による支出等により49億8千1百万円支出が増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて7億3千8百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額2億9千万円等と合わせ、247億9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結の範囲に関する事項の変更）

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社夕張ツムラは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（原価差異の繰延処理）

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰り延べております。

### （3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,150	24,743
受取手形及び売掛金	41,875	43,265
商品及び製品	8,438	7,639
仕掛品	12,428	13,067
原材料及び貯蔵品	31,482	29,573
その他	14,298	13,297
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	133,668	131,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,226	63,567
その他	74,138	68,576
減価償却累計額	△67,542	△69,239
有形固定資産合計	62,822	62,903
無形固定資産		
投資その他の資産	226	211
投資有価証券	20,119	17,196
退職給付に係る資産	122	633
その他	5,510	3,650
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	25,750	21,479
固定資産合計	88,799	84,595
資産合計	222,468	216,177
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,157	3,675
短期借入金	21,957	12,581
未払法人税等	2,838	885
返品調整引当金	16	19
その他	15,732	12,868
流動負債合計	43,702	30,030
固定負債		
長期借入金	15,000	24,376
退職給付に係る負債	66	81
その他	7,996	8,145
固定負債合計	23,063	32,603
負債合計	66,765	62,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,487	19,487
資本剰余金	1,940	1,940
利益剰余金	122,047	128,612
自己株式	△392	△5,393
株主資本合計	143,084	144,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,835	3,622
繰延ヘッジ損益	479	1,551
土地再評価差額金	2,513	2,513
為替換算調整勘定	3,549	△823
退職給付に係る調整累計額	△485	△331
その他の包括利益累計額合計	9,891	6,531
非支配株主持分	2,726	2,365
純資産合計	155,702	153,544
負債純資産合計	222,468	216,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	86,562	87,959
売上原価	34,653	37,423
売上総利益	51,909	50,535
販売費及び一般管理費	35,869	36,550
営業利益	16,039	13,985
営業外収益		
受取利息	74	49
受取配当金	360	382
持分法による投資利益	—	44
その他	242	317
営業外収益合計	677	793
営業外費用		
支払利息	136	104
持分法による投資損失	5	—
為替差損	269	35
その他	19	13
営業外費用合計	430	153
経常利益	16,286	14,626
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	873
特別利益合計	0	874
特別損失		
固定資産売却損	0	14
固定資産除却損	19	26
災害による損失	—	5
特別損失合計	19	46
税金等調整前四半期純利益	16,267	15,453
法人税等	5,373	4,072
四半期純利益	10,894	11,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,641	11,163



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	10,894	11,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,934	△213
繰延ヘッジ損益	△1,771	1,071
為替換算調整勘定	△928	△4,857
退職給付に係る調整額	△1	153
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△94
その他の包括利益合計	211	△3,939
四半期包括利益	11,105	7,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,974	7,802
非支配株主に係る四半期包括利益	131	△360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,267	15,453
減価償却費	3,776	4,039
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△2
受取利息及び受取配当金	△434	△431
支払利息	136	104
持分法による投資損益(△は益)	5	△44
有形固定資産除売却損益(△は益)	12	40
売上債権の増減額(△は増加)	△1,232	△1,546
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,564	△565
仕入債務の増減額(△は減少)	245	1,369
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△873
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△459	△211
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△65
その他	△2,161	3,077
小計	14,590	20,343
利息及び配当金の受取額	457	452
利息の支払額	△137	△103
法人税等の支払額	△3,818	△5,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,091	15,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,043	△6,926
有形固定資産の売却による収入	1,200	22
無形固定資産の取得による支出	△34	△23
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△7	△8
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8	1,874
関係会社出資金の払込による支出	—	△238
貸付けによる支出	△932	△1
貸付金の回収による収入	4	3
定期預金の預入による支出	△25	△26
定期預金の払戻による収入	48	24
その他	△16	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,797	△5,077
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1	△5,001
配当金の支払額	△4,431	△4,413
非支配株主への配当金の支払額	△54	△49
その他	△27	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,515	△9,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144	△1,497
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	633	△738
現金及び現金同等物の期首残高	19,343	25,128
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	290
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	28
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,976	24,709

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,741千株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による増加を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,001百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,393百万円となっております。